

令和6年度仙台市太白障害者福祉センター在宅障害者・一般市民向け事業 「石のアクセサリー作り教室」を開催しました

令和6年11月23日
仙台市太白障害者福祉センター

去る、令和6年11月23日（土）に、「石のアクセサリー作り教室」を開催しました。

太白センターでおこなう在宅障害者・一般市民向け事業として、昨年度に続いて仙台市縄文の森広場から講師を招き教室を開催しました。当日は10名の方が参加していただきました。

講師として「仙台市縄文の森広場 鈴木様」にご協力いただきました。まず始めに、縄文時代における人々の生活や狩猟方法など、スクリーンや掲示した資料などを通して説明をしていただきました。釣り竿から弓へ物を変えていく方法などを実践していただき、皆さん興味を示していました。

次に、中国から取り寄せた「滑石（かっせき）」という爪よりも柔らかい石を用いてアクセサリー作りがはじまりました。自分でデザインを考えて石にマジックで書き、レングを使って少しずつ削っていき形を整えていく、紙やすりや竹の棒を使って曲線を作っていくなど、皆さん試行錯誤しながら取り組まれていました。また、どのようにしたら上手に作れるのかを講師の方に質問するなど、集中して作業をされていたのが印象に残りました。

最後に紐を通してネックレスにし、楽しい雰囲気の中で石のアクセサリー作り教室を終えることができました。参加された方からは、「時間が短かった」「楽しかった」「難しかった」などの感想をいただきました。

今後においても、参加された方が楽しいきっかけとなるような講座を企画していきたいと思っております。

